児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2年2月4日

事業所名: 結の会

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの 十分な確保	取り組みの細分化を行うことで、小グループ ごとの利用スペースを十分に確保できるよう になりました。	十分であるとの声をいただいています。	子供たちの成長とともに、少しずつ手狭に感じることも増えてきた。細分化して、グループごとに行動する手段の充実が望まれます。
	2	職員の適切な配置	職員の異動が多く、なかなかゆとりを持った 配置がとりずらい状態が続いています。	できているという意見の他、分からないという 意見もあります。	職員の入れ替わりなどが、激しい時期もあり、分からないと指摘を受けています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、 情報伝達等に配慮した環境など障害の特性 に応じた設備整備	できる子・できない子、また課題を同じくする 子などのグループ形成がうまく進み、それぞれの特性にあった環境設定が整っています。	十分な工夫がされていると思います。	習熟度別の取り組み、同じ課題グループごと の取り組みと、細分化が次第に増えてきてい ます。同時に、それが成長への効果となって 現れてます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に 合わせた生活空間の確保	子供の成長とともに、生活空間は多少手狭に感じることがありますが、集団活動でも無理のない空間は確保できています。	できていると思います。	定期的な施設内の消毒に加え、カーペットの 交換などを行い、衛生には気を配っていま す。また、活動に関しても、子供たちの体格 的な成長に配慮しています。
	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	子供の日々の調子や、発育の状態に合わせて、職員のケース会議を経て目標設定の変更ができています。		子供たちの支援内容に関しては、その都度 見直しを行い、全職員が支援できるような一 覧を作成し、それに基づき実施しています。
業務改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善 の実施	行っていません。		行っていません。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の 確保	民間の障害に関する研修などに、積極的に 参加してもらう他、利用者の様々状態に合わ せたケース会議を実施しています。		今後も必要と思われる学習・研修に関して は、官民問わずに積極的に参加してもらうよ うにしています。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上での 児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画の作成	利用児童の変化について、送迎時などを利用して、その変化などをお伝えするとともに、 今後の支援の方針変化などをお話しさせて いただいています。		子供たちの現状に合わせた内容になるように、月に一度の支援方法の見直しを行い。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団 活動を適宜組み合わせた児童発達支援又 は放課後等デイサービス計画の作成	子供もの変化に応じた、個別課題と集団活動の実施を常日頃より行っています。また個別の支援計画についても、それぞれの両面からの観点で作成しています。	送迎時や電話などで、子供の発達状況について、また現状やこれからの課題などを一緒に考えてくれます。	最も適した方法や無理のないような方法手段を試行錯誤するように徹底しています。特に、子供たちの発達状況だけでなく、各項目の特性を考慮しながらんの支援内容であるため、個々の特性や達成度の一覧表を作成
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	より具体的な内容で、取り組みやすい課題 や支援方針を提示しています。また、日々の 子供たちの変化にもケース会議などを通じ て、総意理解の上で説明・提示しています。		しながら取り組んでいます。今後も、特性や達成度の把握に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画に沿った適切な支援の実施	時には、教材の精選を行ったり、個々にあった教材や支援方法を検討しながら計画目標を達成するために、職員の打ち合わせを密にして、取り組んでいます。	できていると思います。	子供たちの現状に合わせた内容になるように、月に一度の支援方法の見直して行い。最も適した方法や無理のないような方法手段をより模索していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムも、個々の支援や計画目標 達成のために取り組み、職員全体での検 討・またはケース会議を行いながら取り組ん でいます。	様々なことをしてくれていると思います。いつ も工夫を凝らしたプログラムを行ってくれてい ると思います。 -	最も難しい集団活動とそのプログラムですが、こちらも、個々の特性を考慮するとともに、支援内容も考慮しながら、飽きないもの・ 成長に役立つもの・支援内容に即したもの・ 季節感のあるものと、工夫を凝らした取り組みを続けるように努力しています。
i	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やか な支援	まった支援内突を大切に取り組みます 善段		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節感に合った行事への参加・体の成長を 目的とした遊び・文字への関心を高める遊 び・集団活動を基本にした遊びなど、個々の 適性を考慮しつつ取り組んでいます。		
è	8 支援開始前における職員間でその日の支援 内容や役割分担についての確認の徹底	現在の支援内容の一覧表を確認したり、事前に分かっている個々の子供たちの状態などを、共有しながら、一日の支援内容を始業前に再確認しています。		事前に、職員の担当を決めてはいますが、 状況判断で臨機応変に対処することが必になっています。そうした、場面に応じた状にすぐに適切に対応できるように、職員の 質を高めていきます。
	支援終了後における職員間でその日行われ りた支援の振り返りと気付いた点などの情報 の共有化	当日の支援内容に関しての反省は、日々実施しています。支援内容が十分に行われたか、その子供に合っていたかを検証しつつ、次の取り組み内容や教材の変更などに生かしています。		振り返り・子供の変化・子供の要求・達成度の状況がうまく把握できるように、職員間コミュニケーションの向上や、ケース会議の3実を図ります。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底 や、支援の検証・改善の継続実施	記録の徹底は難しい時がありますが、支援 内容の検証に関しては、ケース会議の実施 を行うことで、常に改善されることが多々あり ます。		振り返り・子供の変化・子供の要求・達成度の状況がうまく把握できるように、職員間コミュニケーションの向上や、ケース会議の3実を図ります。
	定期的なモニタリンクの実施及び児童発達	こちもケース会譲にて行っています。計画 の方針を転換したほうが良い場合などの見 極めの場合は必ずケース会議を実施してい ます。そのうえで改めて、保護者の方に、こう したいという旨の伝達や承認を行っていま		振り返り・子供の変化・子供の要求・達成別の状況がうまく把握できるように、職員間に ミュニケーションの向上や、ケース会議の 実を図ります。

区	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議へり参画			振り返り・子供の変化・子供の要求・達成度 の状況がうまく把握できるように、職員間コ ミュニケーションの向上や、ケース会議の充 実を図ります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	各学校との情報共有はなかなか難しい面が 多いです。こちらからの一方通行になるケー スが多く。相手方の職員によることが多いで す。特に学校側の支援体制が不十分な場合 には顕著になっています。		こちらから、学校への働きかけをしてはいますが、なかなかうまくいかないことが多いのが現状です。根気よく続けていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保育園や幼稚園から小学校・特別支援学校 に移る場合に備えて、サポートブックの作成 を未就学利用者全員には進めています。ま た記入の手伝いを行っています。		未就学児に関しては、全員サポートブックなどの支援方法を進めています。今後も、それは大切にしつつ、家庭での障害へのより深い理解を求めていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関で の研修の受講の促進	時間的な余裕があれば、研修の内容次第で参加させていただいています。		センターでの研修はできるだけ参加しようと考えていますが、なかなか日程が合わないのが現状です。今後もできる限り日程調整などを行っていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども 園、幼稚園等との交流や、放課後等デイ サービスの場合の放課後児童クラブや児童 館との交流など、障害のない子どもと活動す る機会の提供	地域の子供会との交流をしています。地域 の畑での共同作業や、地域の祭りなどに参 加させていただいています。	分からないという声の他、地域の子供た ちとの交流を楽しめたという声もありま す。	SNSなどで常に発信は行っています。今後も発信は行っていきますが、より保護者の方々への周知も併せて行っていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の再開発事業・町おこし事業には、できるだけ参加させていただいています。	分かりませんという声が多かったです。	SNSなどで常に発信は行っています。今後も発信は行っていきますが、より保護者の方々への周知も併せて行っていきます。

区分	ý.	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧 な説明	契約時・見学時に説明させていただいています。	日々の活動内容については、その都 度、しっかりと説明を受けています。	面談やアセスメント時にも説明をさせて いただいています。特に、進路を踏まえ た弔意的な支援・見通しをはじめ、短い
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画を示しながらの支援内容の丁寧な 説明	計画以外にも、その都度現状報告や、今後 の支援の方法について説明させていただい ています。特に、現状をしっかりと把握することで、近い将来への目標を提示しています。	日々の活動内容については、その都 度、しっかりと説明を受けています。	-スパンでの成長見込み支援の計画方針についてできるだけ深く話をさせていただいています。今後も変わりなく行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対するペアレント・トレーニング等の 支援の実施	家庭でもできる支援方法・家庭での接し方・ 当日の支援内容からの家庭での取り組みに ついて、送迎時にできるだけお話させていた だいています。	ロケの主短の内容についてけ その初	まだまだ、十分には理解していただけないことも多くあります。今後も根気よく紛けていきます。
最美さい	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃 から保護者との共通理解の徹底	計画以外にも、その都度現状報告や、今後 の支援の方法について説明させていただい ています。特に、現状をしっかりと把握することで、近い将来への目標を提示しています。	日々の支援の内容については、その都度話をしてまらえますが、今後のことについても欲しいです。という声もありました。また、一方で、いつも丁寧に相談等に乗ってくれているという声もあります。	連絡帳をはじめ、電話や文書・口頭での 状況把握を常々行っていますが、今後 も変わりなく実施していきます。
り見り	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 への適切な対応と必要な助言の実施	子供の問題点・問題行動への対応は、その 都度助言をノートや送迎時の話・また電話で の対応とできる限り、様々な方法で行ってい ます。		
重奏を爰	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年2回の学習会の実施において、同時に保護者会を開催しています。また、年2回程度の親子遠足などを通じて、保護者間の親睦を図っています。	できていると思います。という声の一方分からないという声もあります。	年2回程度の、学習会はこれからも実していきます。また併せて保護者会も 数を増やすなどの取り組みに前向きに 考えています。
友	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	現在のところ、苦情は寄せられておりませんが、その都度対応ができるような体制はとっております。	分からないという声があります。	苦情だけでなく、ご意見も常にうかがえる体制は整っています。今後も、すぐに対応できるように配慮はついづけています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮	アセスシアを行いつう、その時に競も必要 とされる手段・方法を提示しています。ご家 庭でもできる内容・より簡略化した内容など を数種類提示し、家庭に合った内容で取り組 がまたっています。	できているという声が多いです。	連絡帳をはじめ、電話や文書・口頭では 状況把握や支援方法の説明は常々行 ていますが、今後も変わりなく実施して いきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや 保護者への発信	ナー / ページにて 活動の起生などを発信し	できていると思います。という声の一方分からないという声もあります。	SNSなどで常に発信は行っています。 後も発信は行っていきますが、より保証 者の方々への周知も併せて行っていき ます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員への十分な徹底および、ホームページ においても画像や文言に細心の注意を払っ ています。	できていると思います。	ホームページなどでの配慮はもちろんすが、他の事業所間での意見交換に、 要とされる場合には、事前にお知らせせてもらうよう努めます。

分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルの策定と、職員や保護 者への周知徹底		分からないという声があります。	SNSなどで常に発信は行っています。今後も発信は行っていきますが、より保護者の方々への周知も併せて行っていきます。
2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、 教出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練の実施を行っています。	できています、または分からないという 声もありました。	火災・地震の訓練は年に2度実施しています。子供によっては、利用日の異なる場合、経験できない子供もいるということを考慮したい。
3	虐待を防止するための職員研修機の確保 等の適切な対応	可視化された施設で、職員間による、言葉遣いなどの問題点についても相互に理解を図るとともに、指摘しながら取り組んでおります。また、月初には、細心の注意を図れるように再確認しています。		職員間コミュニケーションをより大切にして、言葉遣いをはじめ、虐待について意見交換ができる場を増やしていきます。
4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	これまでの経緯では、身体拘束はありませんでしたが、今後必要とされる場合においては、職員間協議委の元、保護者に連絡をとり承諾依頼をすることもあります。		今後も、身体拘束の必要性が生じる可能性もなくはないということを踏まえて、 適切な配慮ができるように努めます。
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在のところ食物アレルギーの児童はおり ませんが、アセスメント等で十分に把握して います。		食物アレルギーに関わらず、アレルギーに関しては、職員に周知して、より安全な対応・安心な対応ができるように今後も配慮します。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内で の共有の徹底	施設内は可視化されております。そのため、 ヒヤリハットの事象が発生しそうだと想定さ れるときには互いに声かけを行っています。		可視化された施設内ですので、互いには ヤリハットの意識を共有し、場面想定な どケースに応じて、話し合いを持ってい きます。